



片頭痛でお悩みの方へ！！新薬「ナルティーク®」についてのご紹介です。

「ナルティーク®」は、2025年12月16日に発売となった片頭痛の新薬です。発作時治療と予防の両方に使える新しいタイプの内服薬です。薬の一般名はリメゲパントで、OD錠（口腔内崩壊錠）なので水なしでも服用できます。

ナルティーク®の特徴

「急性期治療」と「予防」の「二刀流」

これまでの片頭痛治療薬は、痛い時に飲む薬と予防薬は別々に使うのが一般的でした。ナルティークは、片頭痛の原因物質とされるCGRP（カルシトニン遺伝子関連ペプチド）の働きを抑えることで、発作時のつらい痛みを抑える治療と、発作自体を減らす予防治療の両方に役立ちます。

血管への影響が少ない

片頭痛の発作時治療薬として広く使われているトリプタン製剤は、血管を収縮させる作用があるため、心臓や血管の疾患がある方には使えません。ナルティークは血管収縮作用が少ないため、トリプタン製剤が使えない方にも安心して使用できます。

水なしで服用できるOD錠

服用方法：ナルティークは口の中で溶ける「口腔内崩壊錠（OD錠）」なので、水なしで飲むことができます。片頭痛の発作時など、吐き気で水が飲みにくい時や、外出先など水が手元ない状況でも手軽に服用できます。

・**発作時の治療：**頭痛が起きたときに1回1錠（75mg）服用します。1日の総服用量は75mgを超えないようにしてください。1日1錠までです。

・**予防：**1日おきに1錠（75mg）服用します。（予防内服した日に発作が起きてしまった場合、追加内服はできません。）

費用

ナルティークOD錠75mgの薬価は1錠あたり2,923.2円です。（3割負担で1錠880円です。）予防目的で隔日服用する場合、1か月の薬剤の自己負担額は3割負担で約12,277円が目安となります。これに診療料や薬局での調剤料が加わります。なお、発売日以後1年間は新薬として2週間分（7回分）ずつしか処方できません。

使用上の注意

ナルティーク®は、腎機能に障害がある方など、注意が必要な場合がありますが、副作用が少なく安全に服用できる薬です。トリプタン製剤やラスミジタンが合わなかった方や、注射による治療を避けたい方、発作を繰り返す方にとって、片頭痛治療の新しい選択肢となりそうです。

片頭痛治療薬（頓服薬）の比較

薬剤	特徴
鎮痛薬 アセトアミノフェン など	効果あるが安易に飲みすぎると頭痛が増える。だんだんと効かなくなっていくことが多い。
各種 トリプタン製剤	片頭痛発作時の第一選択薬。頭痛が始まってすぐに服用することが大切。時間がたつと効果が弱くなる。
ラスミジタン (レイボー®)	頭痛発症後1日服用しても効果があるが、眠気・倦怠感などの副作用が多い。
リメゲパント (ナルティーク®)	頭痛時に1錠服用（1日1錠のみ服用できる）

片頭痛予防薬の比較

薬剤	特徴
アミトリプテリン (トリプタンール®)	抗うつ薬。下降性疼痛抑制系に関与。眠気の副作用。
バルプロ酸ナトリウム (デパケン®)	抗てんかん薬。眠気の副作用。
トピラマート(トピナ®)	抗てんかん薬。頭痛には保険適応がない。
フロプラノロール (インテラル®)	抗不整脈薬。喘息患者には使用できない。リザトリプタンと併用禁忌。
ロメリジン塩酸塩 (ミグリス®)	カルシウム拮抗薬。効果は少し劣る。
抗CGRP抗体薬（注射） (エムガルティ® アイモビーグ®・アジョビ®)	経口の予防薬と比較し有効。1か月（あるいは4週）に1回。3割負担で月に約1万円と高額。
リメゲパント (ナルティーク®)	一日おきに服用。



公式ライン・Instagramお友達募集中です！！

QRコードで追加 もしくは ラインID
そらいろこどもクリニックで検索！！



ID : 713kovcu



お知らせ

現在おたふくワクチンが出荷調整につき納品数のごくわずかのためご予約を制限いたしております。ご迷惑をお掛けしております。詳しくはホームページをご覧ください。

